

## 第2期(平成27年度)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」 コンソーシアム教員の公募に関するQ&A

**Q1:** コンソーシアム参加機関はどのようなものでしょうか？

**A1:** 2014年10月現在、代表機関：広島大学、共同実施機関：山口大学、徳島大学、連携機関：(国立大学)岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、(公私立大学)：県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学、(公的研究機関)：産業技術総合研究所中国センター、産業技術総合研究所四国センター、酒類総合研究所、(企業)：マツダ、サタケ、JFE スチール、ジェーイーエル、日本ハム中央研究所、EY アドバイザリー、で構成しています。

**Q2:** テニュアトラックはどのような形で行われるのでしょうか？

**A2:** 最初に採用された各機関において、テニュアトラック審査が行われます。テニュアトラック審査の時期、方法、基準等については、一次審査合格者に対して別途通知いたしますが、基本的には各大学のテニュアトラックのルールに則って行われます。

**Q3:** 「科学技術イノベーションへの貢献」とはどのようなものでしょうか？

**A3:** 「知の大競争時代」において地域・大学・各研究者が生き残り、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、地球環境の持続性などへの貢献を果たしていくためには、特定の分野だけでなく人文学・社会科学など含めたすべての分野において、自らの分野に閉じこもることなく社会と積極的に関与していく人材が求められています。また、科学技術イノベーションは、英語では science, technology and innovation であり、ここでのイノベーションには、サービスイノベーション、ビジネスイノベーションなど、新しく生み出された知の様々な社会展開の形が含まれるものと解釈してください。具体的な貢献には、コンソーシアム教員となった後の、企業・異分野研究者などとの共同研究なども含まれます。大きな枠組みとしては政府の科学技術イノベーション総合戦略 2014 などをご覧ください (<http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2014/honbun2014.pdf>)。

**Q4:** 書面(紙媒体)で応募しても良いですか？

**A4:** いいえ、紙媒体の書類は受け付けません。本公募要領に記載の電子メールアドレスに送付してください。

**Q5:** 講義の負担はどの程度ですか？

**A4:** 各機関・部局によって異なります。しかし、研究エフォートが 60%以上を求められていることにご留意ください。

**Q5:** 博士号取得見込のものは応募できますか？

**A4:** 着任時まで博士号を取得できるのであれば、応募できます。

**広島大学限定:**

**Q1:** 着任前の前任大学で研究指導を行っていた大学院生をコンソーシアム教員として赴任後も研究指導できますか？

**A1:** 前任大学と所属大学の間で大学間協定を結ぶことで、大学院生の学籍を移動しなくても研究指導が可能になります。

**Q2:** 退職金はありますか？

**A2:** 年俸制によるコンソーシアム教員の給与には既に退職金相当額が含まれていますので、別途に退職金が支払われることはありません。

**Q3:** 学内に保育所はありますか？

**A3:** 広島大学内外に保育所があります。大学スタッフも入園の支援をいたします。

**Q4:** 出産・育児等による休職は認められるのでしょうか？

**A4:** 広島大学の「育児・介護休業等に関する規程」により認められます。テニユア・トラック期間については、検討中です。

## 山口大学限定:

山口大学での処遇や大学全体の研究環境に関するお問合せ先:

山口大学学術研究部研究推進課研究プロジェクト係

TEL 083-933-5036

E-mail [sh060@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:sh060@yamaguchi-u.ac.jp)

**Q1:**退職金がありますか？

**A1:**本公募で採用された教員（コンソーシアム教員）の給与は年俸制になっており、給与には既に退職金相当額が含まれていますので、別途に退職金が支払われることはありません。

**Q2:**出産・育児等による休職は認められるのでしょうか？

**A2:**認められます。テニユア審査への配慮等については検討中です。

**Q3:**3年目以降に研究資金が枯渇するのが不安ですが、山口大学の場合、大学独自で研究費をサポートする制度はありますか？

**A3:**2014年度時点で「科研チャレンジプロジェクト」「温故知新プロジェクト」「若手研究者支援経費」「新・呼び水プロジェクト」という、一般教員や研究グループを対象とした学内競争的資金(2015年度以降については変わる可能性があります)が用意されており、これらに応募することができます。募集の時期に山口大学学術研究部のページ (URL <http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/>) に掲載されますので、ご参照ください。(資金の詳細については、学外からはご覧いただけません。)

**Q4:**山口大学に着任後に申請すれば利用可能な共用機器にはどのようなものがありますか？

**A4:**山口大学総合科学実験センターのトップページ (URL <http://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/src/>) に各施設の紹介があり、使用できる共用機器が掲載されていますのでご覧ください。

**Q5:**山口大学にて閲覧できる電子ジャーナルにはどのようなものがありますか？

**A4:**山口大学図書館ホームページにあるオンラインジャーナルポータル (URL: <http://sfx2.usaco.co.jp/yamaguchi/az/>) をご覧ください。(雑誌名については学外からもご確認いただけます。)

他に何か質問がございましたら、下記にお問合せ下さい。

Contact E-mail address: [consortium-koubo@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:consortium-koubo@office.hiroshima-u.ac.jp)